Infectious Diseases Weekly Report
IDWR HIROSHIMA City
2025年第5週（1月27日～2月2日）

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

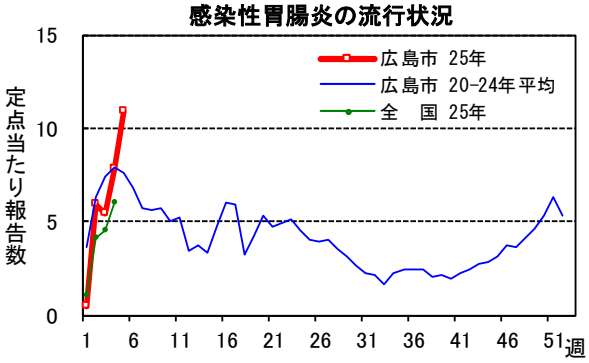
1　感染性胃腸炎

定点当たり10.87人の報告があり、前週の約1.4倍に増加しました。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

2　A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり1.91人の報告がありました。県内では、第4週に北部保健所管内で警報開始基準値（定点当たり8）以上となったため、1月30日、県内全域に「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報」が発令されました。

感染性胃腸炎の流行状況



3　インフルエンザ

定点当たり4.14人の報告がありました。減少傾向ですが、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が9件あり、引き続き注意が必要です。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果（市内2か所の協力医療機関による）　第5週　A型：15人、B型：0人

4　新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

定点当たり2.89人の報告がありました。手洗い、換気、マスク着用推奨場面（医療機関や高齢者施設等の訪問時）でのマスク着用など、感染予防対策を徹底しましょう。

■定点把握感染症報告状況（週報対象）

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均（注）	発生記号
インフル	インフルエンザ	149	4.14	10.61	↘
	新型コロナ（COVID－19）	104	2.89		→
小児科	RSウイルス感染症	24	1.04	0.18	↗
	咽頭結膜熱	5	0.22	0.74	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	1.91	1.51	→
	感染性胃腸炎	250	10.87	7.62	↗
	水痘	7	0.30	0.13	
	手足口病	1	0.04	0.28	
	伝染性紅斑	4	0.17	0.10	
	突発性発しん	2	0.09	0.21	
小児科	ヘルパンギーナ	－	－	0.09	
	流行性耳下腺炎	－	－	0.03	
眼科	急性出血性結膜炎	－	－	－	
	流行性角結膜炎	11	1.38	0.58	
基幹	細菌性髄膜炎	－	－	－	
	無菌性髄膜炎	－	－	－	
	マイコプラズマ肺炎	5	0.83	0.14	
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	－	－	－	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	0.17	0.03	

急増減	前週と比較しておおむね1：2以上の増減
増減	前週と比較しておおむね1：1.5～2の増減
微増減	前週と比較しておおむね1：1.1～1.5の増減
横ばい	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数（小児科定点を含む）	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

（注）過去5年間の同時期平均（定点当たり）

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	6	20歳代・推定感染地域：国外、70歳代
5	梅毒	4	9	20歳代・1人、30歳代・2人、40歳代・1人
5	百日咳	3	12	10歳未満・1人、10歳代・2人

■定点把握感染症報告状況（週報対象）の推移

			インフルエンザ	新型コロナ（COVID－19）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎（ロタウイルス）
報告数	広島市	第1週	444	53	1	2	2	6	2	3	1	－	－	－	－	1	－	－	31	－	－
		第2週	1,113	123	5	9	23	136	8	2	4	5	－	－	1	16	－	－	14	－	－
		第3週	512	87	3	2	22	124	1	4	1	4	－	1	－	8	－	－	13	－	－
		第4週	264	114	19	9	40	180	8	1	4	2	－	1	1	5	－	－	11	－	－
		第5週	149	104	24	5	44	250	7	1	4	2	－	－	－	11	－	－	5	－	1
定点当たり	広島市	第1週	18.50	2.21	0.07	0.14	0.14	0.43	0.14	0.21	0.07	－	－	－	－	0.33	－	－	5.17	－	－
		第2週	30.92	3.42	0.22	0.39	1.00	5.91	0.35	0.09	0.17	0.22	－	－	0.13	2.00	－	－	2.33	－	－
		第3週	14.22	2.42	0.13	0.09	0.96	5.39	0.04	0.17	0.04	0.17	－	0.04	－	1.00	－	－	2.17	－	－
		第4週	7.33	3.17	0.83	0.39	1.74	7.83	0.35	0.04	0.17	0.09	－	0.04	0.13	0.63	－	－	1.83	－	－
		第5週	4.14	2.89	1.04	0.22	1.91	10.87	0.30	0.04	0.17	0.09	－	－	－	1.38	－	－	0.83	－	0.17
	全国	第3週	18.40	5.63	0.41	0.23	1.84	4.53	0.18	0.11	0.95	0.19	0.01	0.03	0.05	0.61	0.03	0.02	0.85	0.01	0.02
		第4週	11.06	6.06	0.73	0.33	2.37	6.06	0.26	0.12	0.98	0.20	0.01	0.03	0.04	0.59	0.02	0.03	0.63	0.01	0.03

■新たに判明した病原体検出状況

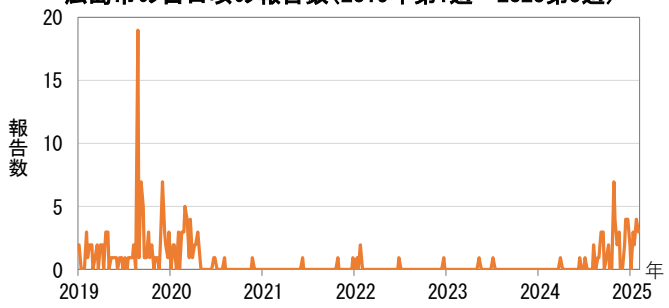
（検査：広島市衛生研究所）

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.5℃) 咽頭炎	9	2024/10/23	鼻汁(拭い液)	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞｳｲﾙｽA(H1N1)2009型
COVID-19	発熱(38.0℃) 熱性痙攣	0	2024/12/05	咽頭拭い液	新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ(SARS-CoV-2)
手足口病	丘疹 口内炎	3	2024/11/26	咽頭拭い液	ｴﾝﾃﾛｳｲﾙｽ71型
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜周擁充血 瞼結膜の発赤	24	2024/11/16	結膜擦過物	ｱﾃﾞﾉｳｲﾙｽ8型
流行性角結膜炎	結膜充血 眼瞼浮腫 球結膜下浮腫	26	2024/11/25	結膜擦過物	ｱﾃﾞﾉｳｲﾙｽ8型

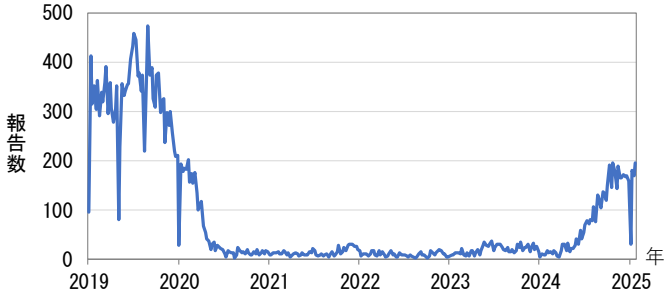
＊感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】百日咳の発生動向について

広島市の百日咳の報告数（2019年第1週～2025第5週）



全国の百日咳の報告数（2019年第1週～2025第4週）



百日咳の報告数は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行が始まった2020年以降、低い水準が続いていました。全国の報告数は、昨年春から増加傾向であり、本市も同様の傾向を示しています。

百日咳は、7～10日程度の潜伏期間を経て、かぜ様症状で始まり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。短い咳が連続的に起こり、息を吸う時に笛のような音が出る発作性の咳となり、しばしば嘔吐を伴います。

成人の場合は、咳が長期にわたって持続しますが、典型的な症状を示すことが少なく百日咳とわかりにくいため、周囲に感染を広げてしまうことがあり、注意が必要です。

肺炎や脳症などを合併することもあり、1歳以下の乳児、特に生後6か月未満の乳児は重症化のリスクが高く、注意が必要です。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。

【参考】百日咳とは（国立感染症研究所） https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/477-pertussis.html

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/

【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所　〒733-8650　広島市西区商工センター四丁目１番２号
TEL(082)277-6575　FAX(082)277-5666　E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp